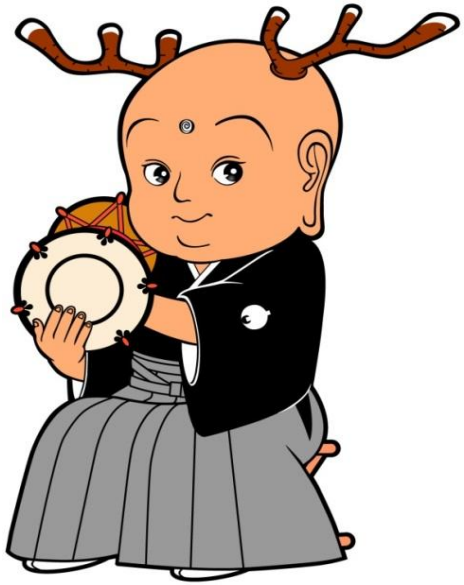
テーマ:「ふるさと創生の実現に向けて」

若者が地元で活躍できる機会の創出



平成28年8月3日

奈良県知事　荒井　正吾

若者の地元定着の推進のために

若者の地元定着と、地元での「産業興し」を促進させることが必要

知識や技術、経営マネジメント力を持った若者を育成

そのためには、
「高校・大学・職業を接続させた実学教育」
の推進が必要

本県では今年度に

・「なら食と農の魅力創造国際大学校」を開校
・高等技術専門校の訓練コースを充実
（マーケティングコースの設置等）

平成28年4月「なら食と農の魅力創造国際大学校」（NAFIC：ナフィック）を開校

安倍校舎（フードクリエイティブ学科）

これまでにない**実学教育**により、世界で活躍する料理人や県内農業をリードする農業者を育成し、飲食業サービス・農業の未来を拓く**次世代の「食」と「農」のトップランナーを育成**。

■フードクリエイティブ学科

○ 食材のことを理解した料理人（農に強い食の担い手）を育成。

○ オーベルジュ（宿泊施設を備えたレストラン）を併設し、授業の一環として、レストランでの調理やフロアサービスでの実践実習を行う。

1人1ストーブで方式で調理実習

オーベルジュでの実践実習

農業実習を通じて、調理に役立つ「農」の知識を習得

20～30歳代の学生が中心

加工品などの販売実習

■アグリマネジメント学科

○ 農業大学校の機能を継承し、高い技術や経営・マーケティング力を持つ農業人材を育成。

○ 先進農家へのインターンシップや1人1ほ場での実践実習を実施。

農家実践実習

プロジェクト実践実習

川下ニーズ販売実習

なら食と農の魅力創造国際大学校（NAFIC）を核とした「食」と「農」に関する人材育成について（検討中）

高　校

接続

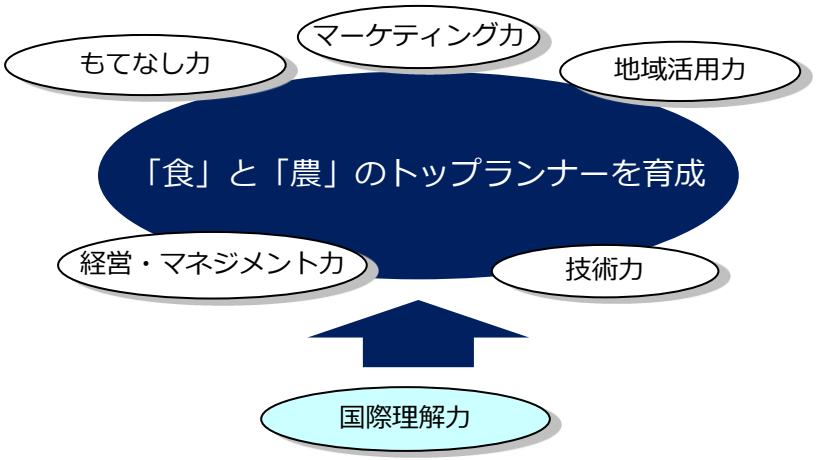
なら食と農の魅力創造国際大学校（NAFIC）

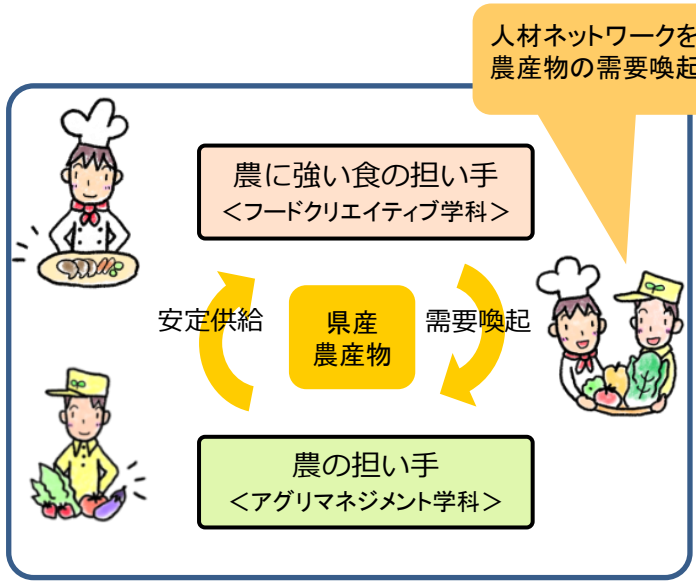
キャリアアップ

5年間継続する一貫性のある「食」と「農」の教育を実施
（基本的な知識・技術＋現場実習による実践力）

★実学教育を柱として、職の即戦力につながる人材を育成するカリキュラムを高・大・職の接続で構築

人材育成コンセプト





海外レストランで研修

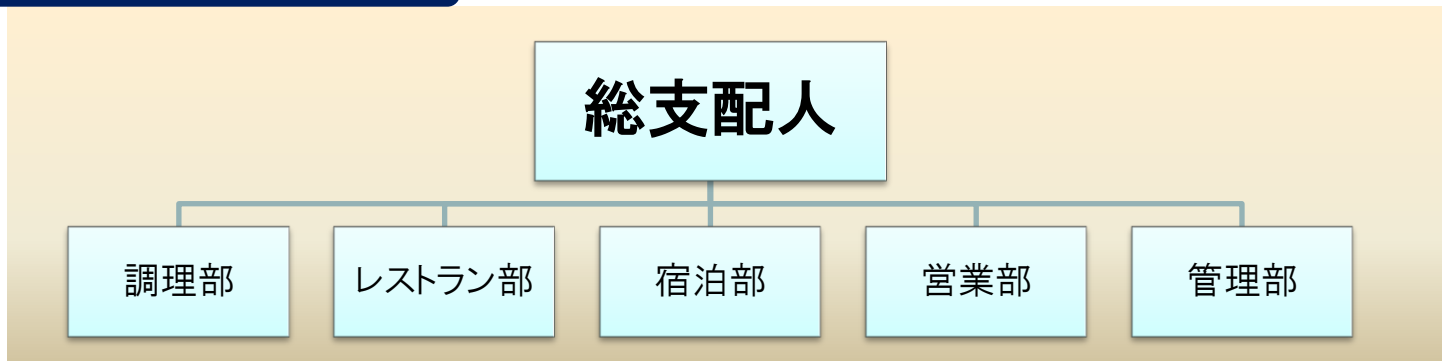
海外への留学

若者が地元で活躍

高等技術専門校での新しい試み

- 奈良県の売りの一つである「観光」分野で活躍する一流の人材の養成に取り組みはじめています。
- 将来の優れた総支配人候補を養成して、県内宿泊業の「おもてなし」のレベルアップを目指します。

総支配人はホテル経営の中枢

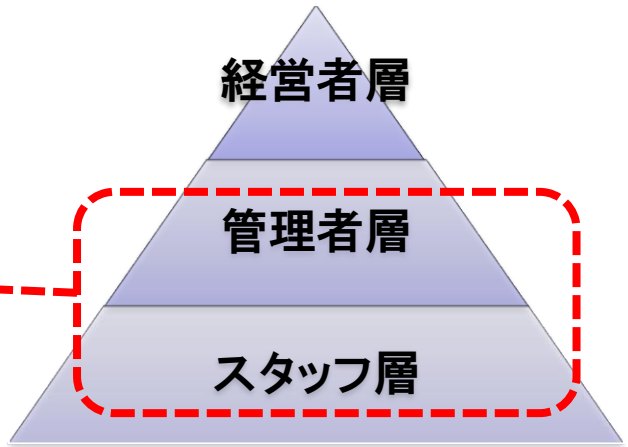


人事マネジメント

経営戦略

会計

マーケティング



また、雇用の場を創出するためには、

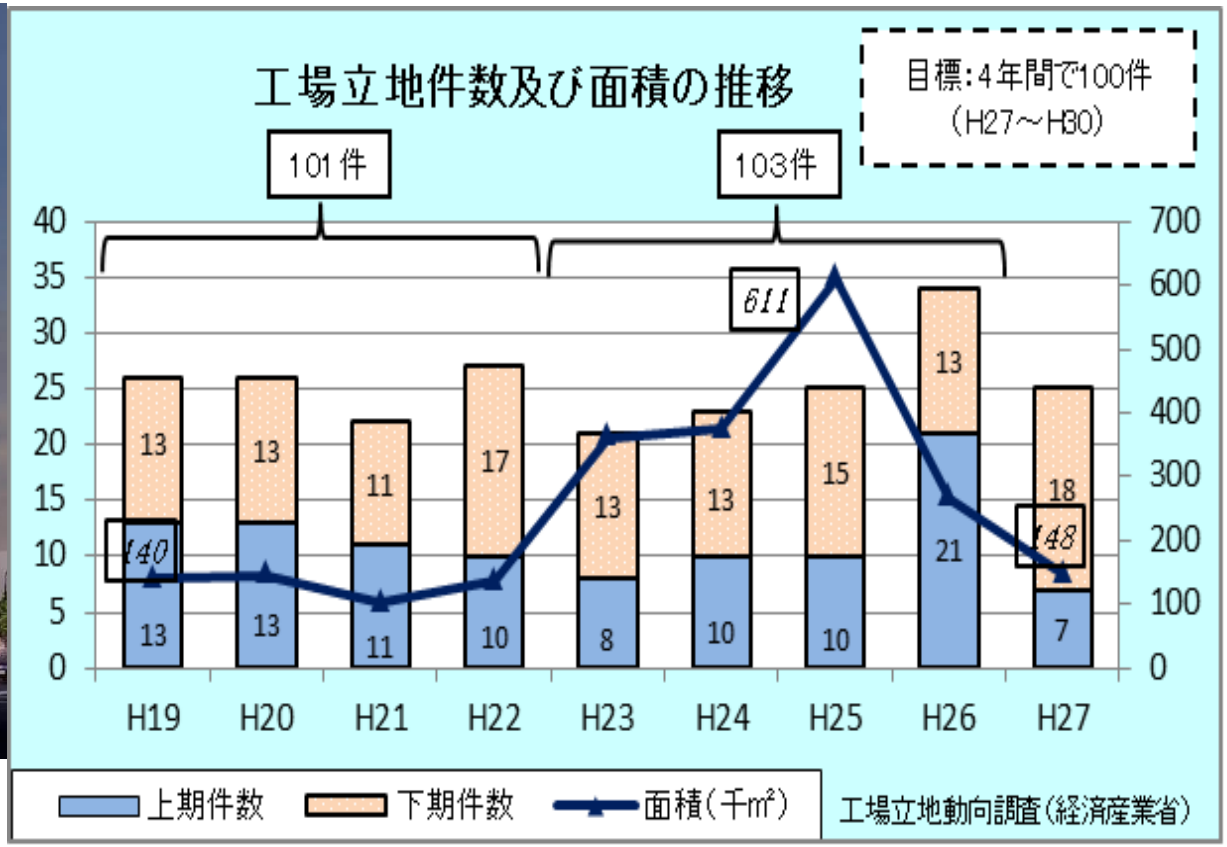
「企業誘致と幅広い就労支援」を行うことが大切

企業誘致の実施

若者の働く場を幅広い分野で創出するため、工場誘致の他、ホテル誘致に力を入れています。

◆ マリオット・インターナショナルの最高級ホテルブランドが日本初進出
「ＪＷマリオットホテル奈良」として、２０２０年春の開業を予定
◆ 平成１９年から２６年の８年間で２０４件の工場立地（近畿第３位）

ＪＷマリオットホテル奈良（150室）



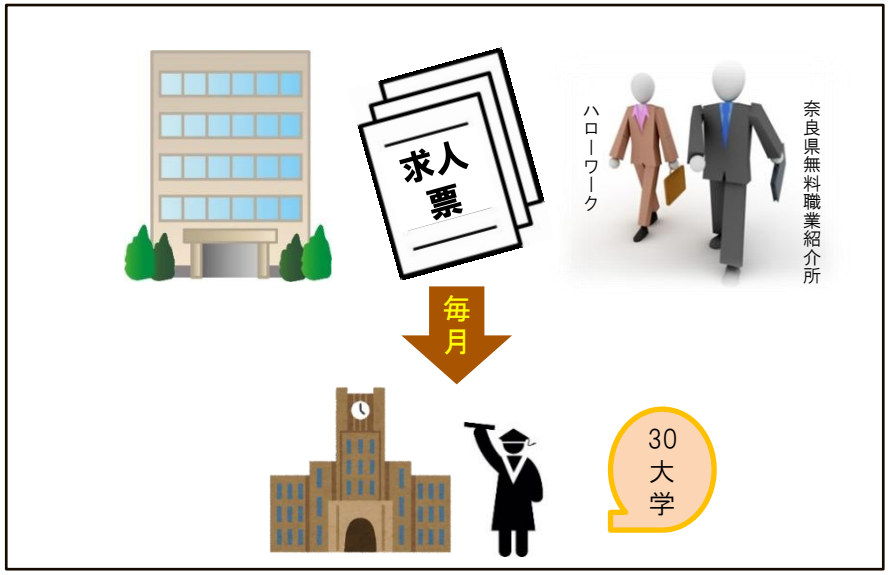
就労支援のためのマッチングの実施

奈良県と奈良労働局が全国に先駆けて、包括的な奈良県雇用対策協定を締結。（平成25年6月）
- 幅広い項目に関して、共同事業を進めている。
- 障害者雇用数の大幅増加（障害者雇用率全国３位）など、確実に成果を上げている。

奈良労働局　　**奈良県**

県内就職の促進

奈良県と奈良労働局が共同で
県内企業の新卒求人開拓を実施し、県内外大学に情報提供



奈良県と奈良労働局が共同で
企業説明会等で相談対応を実施